

行政視察報告書

令和4年5月16日

会派名 江南クラブ
会派代表者 牧野 圭佑

(参加者：牧野 圭佑、尾関 昭、片山 裕之)
行政視察の結果について、次のとおり報告します。

年月日	令和4年5月2日(月)
視察時間	午後2時～午後3時30分
視察先	静岡県湖西市(オンライン)
視察項目	教科書の単独採択について

行政視察報告書

年月日	令和4年5月2日（月）
視察時間	午後2時～午後3時30分
視察先	静岡県湖西市（オンライン）
視察項目	教科書の単独採択について
<p>■目的</p> <p>江南市は現在、教科書採択を7市町にて行っているが、全国44.1%の市町村が単独採択を行っている。（令和2年8月31日時点）</p> <p>単独での採択は非常に多くの労力・時間を要するが、当市よりも少ない人口約6万人の湖西市がどのような経緯で単独採択を行うようになったのか、又そのメリット・デメリットなどをお聞きし、今後の参考にさせていただく。</p>	
<p>■内容</p> <p>教科書の単独採択についての質問内容と回答は以下のとおりです。</p> <p>（1）単独採択を始めた時期とその経緯について</p> <p>平成17年7月、旧浜松市が周辺12市町村と合併し、現在の浜松市になりました。それ以前は、浜北市、舞阪町、雄踏町、新居町（現在は湖西市）と湖西市の2市3町が「浜名地区」を形成し、教育関係の諸活動や教職員の人事異動等においては、同一歩調で進めてまいりました。教科用図書の採択につきましても、調査研究から選定、採択まで2市3町の代表者で行ってまいりましたが、この市町村合併以後は、結果的に1市単独での採択となりました。</p> <p>（2）単独採択のメリットとデメリットについて</p> <p>【メリット】湖西市の地域性や児童生徒に合った教科用図書を採択できることです。</p> <p>【デメリット】湖西市の中学生は、ほぼ浜松市の高等学校へ進学します。学習指導要領によって指導をしているので教えている側としては大きな問題とは考えていませんが、保護者の中には、教科書の異なる他地区から進学してくる子供と比較して、自分の子供が不利にならないか心配される方もいます。</p> <p>（3）教育委員はどのように選任しているのか。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条のとおり、教育長についても教育委員についても、市長が議会の同意を経て、直接任命を行っております。</p>	

(4) 地理・歴史・公民・地図を、5名の研究員で授業を受け持ちながら、1カ月間で調査研究することに、支障は生じていないのか。

ご指摘のとおりです。4年に1度のことでありますが、社会科については、大きな課題になっています。調査研究委員の人数について決まりはありませんが、静岡県教育委員会からの通知で例示された社会科の人数が5名でありますので、本市も5名で行っています。今回の社会科調査研究委員からは負担であるという声が上がっておりまして、次回の採択替えの時には、増員を検討するつもりです。

(5) 新教科書の展示会場にあるアンケートをどの程度参考にしているのか。参考程度に活用させていただいております。

(6) 中学生の生徒数、中学校の数、歴史の教師の数について
令和3年5月1日調では、生徒数1,516名です。中学校数5校、社会科教員数は11名です。

(7) 4年ごとの調査研究員は、同一人物が多いのか、入れ替えているのか
入れ替えるだけの余裕がないというのが、正直なところです。人事異動等があれば替わりますが、異動も市外の学校へ転勤することが少ない地域ですので、学校が変わっても人は変わらないことが多いです。

(8) 調査研究員の選定に工夫、配慮等していることについて
上記(7)のような状況ですので、どの教科においても、意識的に若手を1名は入れるように心がけています。

(9) 採択制度が始まって以来の、教科書採択結果一覧表があればご惠与願います。直近の結果につきまして、別添データにてお渡しいたします。

■所感

今回視察を行った湖西市は、平成17年7月に浜松市が、周辺12市町村と合併したのがきっかけで単独採択となったとのことでした。単独採択は地域性や児童生徒に合った教科用図書を採択できるメリットがある反面、ほぼ、浜松市の高等学校へ進学する湖西市の中学生の保護者の中には、教科書が異なることにより、子供が不利にならないか心配される声がありました。ほかにも、調査研究に関しての負担があるというデメリットがあるとのことでした。

教科書の単独採択について、今回の視察結果を参考にさせていただきます。